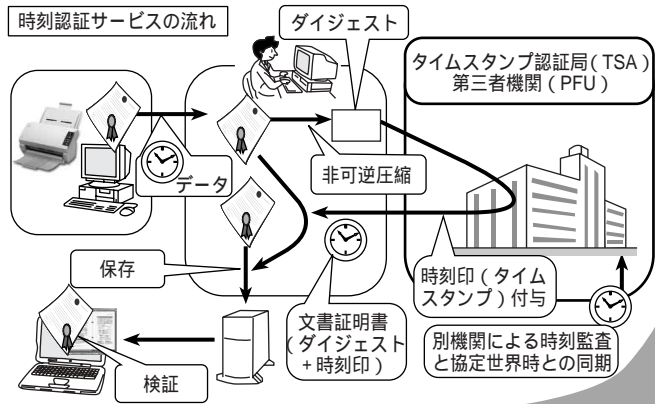


新製品紹介

電子化データ・電子データに
存在証明と完全性証明を付与
するタイムスタンプ局
PFUタイムスタンプ・サービス



PFU タイムスタンプ・サービスは、あらゆる電子データに対し、存在証明（時刻証明）と完全性証明（原本同一性の証明）を提供します。

背景

e-Japan 戦略 II における政府規制緩和策として、民間に保存を義務づけている税務関係書類に対し、電子保存の容認について 2003 年 7 月に検討が進められました。

2004 年 2 月の e-Japan 戦略 II 加速化パッケージでは、“e- 文書イニシアティブ” が発表され、財務関係書類、税務関係書類等の文書・帳票のうち、電子的な保存が認められていないものについて、原則、これらの電子保存が可能となるようにする統一的法律（通称「e-文書法」）の制定化を推進することとなりました。

そして、通称「e-文書法」が制定されることにより、経済界における紙の保存コスト削減が（社）日本経済団体連合会の試算で 3,000 億円/年）可能といわれております。

電子保存を実現するためには、電子データの問題点（改ざん・追加・削除が容易、存在証明が困難）を解決し、証拠能力を上げる必要があります。電子データの証拠能力を上げる解決策として、タイムスタンプ局による作成日時の保証、非改ざん証明（電子署名の機能）、スキャナによるフルカラー入力などの必要性が求められています。

製品の特長

▶ 公開されたインターフェース仕様 ◀

国際標準形式（RFC3161）により、将来に渡って存在証明と完全性証明の互換性を維持していくことが可能となります。

▶ 第三者機関による高い証明力 ◀

PFU タイムスタンプ局は、第三者による時刻監査と電子認証による証明書を受けるタイムスタンプ局のため、高い証拠能力を実現しています。

▶ リーズナブルな価格設定 ◀

タイムスタンプ・サービスの普及を目指し、1 スタンプあたり 10 円で提供しています。

▶ 高信頼性と高いセキュリティ ◀

高信頼性クラスタリングシステム、災害対策・セキュリティ対策を講じた IDC でシステムを運用し、安定した環境下でサービスを提供しています。

▶ あらゆる電子データにタイムスタンプを付与 ◀

JPEG・PDF・XML・EDI データなどのあらゆる電子フォーマットにタイムスタンプの付与を実現しています。

タイムスタンプ・サービス機能

▶ 電子データに対する存在証明を提供 ◀

電子データが、時刻証明書を受けた時刻以前にその電子データが存在していたことを証明します。

▶ 電子データに対する完全性証明を提供 ◀

時刻証明書を受けた電子データが、その時刻以降にその電子データが改ざん・追加・削除されていないことを証明します。

電子データに、存在証明と完全性証明を付与することで、その電子データの信頼性を向上し、高い証拠能力を確保することができます。

お問合せ先

以下の URL にて、お問合せ先およびサービス詳細情報をご案内しております。

<http://www.pfu.fujitsu.com/tsa/>

参考文献

1) (社) 日本経済団体連合会：税務書類の電子保存範囲の拡大実現に関する情報通信委員長コメント。

<http://www.keidanren.or.jp/japanese/speech/comment/2004/0702.html>